



写真は標準キャブ・セミロングデッキ・高床・3.0トン積・ディーゼル車。“S パッケージ”装着車。ボディカラーはブルー<8P0>。車種番号 175 ■写真は合成です。

## トラックづくりのすべてにわたって、環境への配慮を徹底。

### トヨタがめざす「トータルクリーン」

トヨタは「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携。さまざまな環境目標をバランスを取りながら達成することで、総合的に環境性能の向上を図り、クリーンなクルマづくりをめざします。

### 地球温暖化対策の実施

●温室内効果ガスであるCO<sub>2</sub>排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載。また、ハイブリッドシステムの採用などにより、優れた低燃費を達成しています。  
●エアコンの冷媒充填量を低減しています。

### 環境負荷物質の削減

水銀、カドミウム、六価クロムの使用を廃止し、鉛の使用量を削減することで、業界目標を達成しています。

※1. LCA:Life Cycle Assessment。資源採取～廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。

※2. Eco-VAS[エコバス]:Eco-Vehicle Assessment System。車両開発責任者が企画段階で生産・使用・廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通して目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。※3. TSOP:Toyota Super Olefin Polymer

### トヨタトヨエース環境仕様

車両仕様	車両		ディーゼル車						LPG車				
			DPR搭載車					ハイブリッド車					
			エンジン	型式	N04C-UM◆	N04C-UN◆	N04C-UP◆	N04C-UQ	N04C-UQ◆	1BZ-FPE			
環境情報	CO <sub>2</sub> 排出量(g/km)	車両総重量(3.5t超以下)	総排気量(L)	1.5トン超2.0トン以下	249	249	249	259		212	275		
			使用燃料	2.0トン超3.0トン以下	—	269	269	281	—	223	295		
	駆動装置	駆動方式	駆動方式	3.0トン超4.0トン以下	—	—	315	340	—	272	—		
			変速機	4.0トン超	—	—	—	—	354	—	—		
	CO <sub>2</sub> 排出量(g/km)	車両総重量(7.5t超以下)	7.5t超8.0t以下	8.0t以下	—	—	—	375	—	—	—		
			適合規制	平成22年(ポスト新長期)排出ガス規制[規制値に対しNOx▲10%かつPM▲10%]						平成17年規制			
	排出ガス	JE05モード認定レベルg/kWh	NOx	0.63						0.7			
			NMHC	0.17						0.23			
	車外騒音(加速/定常/近接)(dB)		P M	0.009						—			
	冷媒の種類/使用量(g)		HFC-134a/標準キャブ400、ワイドキャブ500(サブコンデンサー付きは650)								—		
	環境負荷物質削減		鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年時点の1/10以下※5)									
	リサイクル関係	リサイクルしやすい材料(TSOP)を使用した部品	水銀	自工会2005年1月以降使用禁止※6									
			カドミウム	自工会2007年1月以降使用禁止									
	リサイクル関係	樹脂、ゴム部品への材料表示	六価クロム	自工会2008年1月以降使用禁止									

※4.オプション装備により適用となる場合があります。※5.1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。

※6.交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。

◆印の車両は環境対応車 普及促進税制の適用車です。ご購入時に自動車取得税の軽減措置が受けられます(平成29年3月31日まで)。また、自動車重量税の軽減措置が受けられます(平成29年4月30日までに新規登録を受ける車を対象)。詳しくは販売店におたずねください。

### LCA(ライフサイクルアセスメント)<sup>※1</sup>の実施

走行段階だけでなく、トラックの生産・使用から最終的に廃棄するまでの全ライフサイクルで、環境への負荷を把握するのがLCA(ライフサイクルアセスメント)。トヨタでは、その観点から、排出するCO<sub>2</sub>やその他の大気汚染物質の総量を従来型車に比べて低減しています。

### 都市環境のクリーン化に配慮

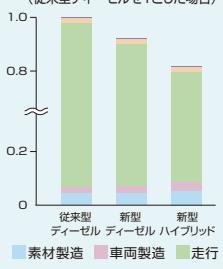
ディーゼル車は新高性能触媒DPRなどの採用により、排出ガスのクリーン化を推進。その結果、「平成22年(ポスト新長期)排出ガス規制」に適合しています。

### リサイクル性の向上へ

インストルメントパネルやメータークラスター、グローブボックスドアなど内装部品にリサイクル性に優れた樹脂TSOP<sup>※3</sup>を使用しています。



#### ■ ライフサイクルCO<sub>2</sub> (従来型ディーゼルを1とした場合)



●上記のグラフは代表的な車両の算出結果です。燃費値は重量車モード燃費値を使用しています。

●トヨタではLCAにより相対的な環境メリットを確認することを目的としているため、評価結果は指数で示しています。